



第39期 ビジネスレポート

2015年1月1日 ▶ 2015年12月31日

ミズホメディーは
“もっと人のために”をテーマに
皆様から信頼される製品を
開発/提供してまいります。

証券コード: 4595

株式会社 ミズホメディー

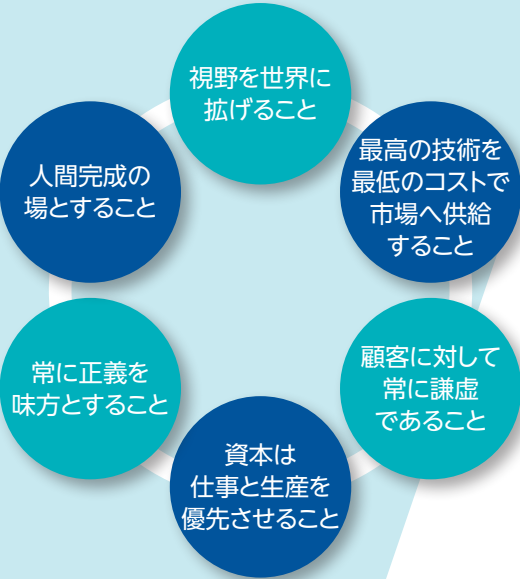
株式会社ミズホメディーとは

ミズホメディーの 事業運営方針

体外診断用医薬品は、著しく急激に進歩し、高度化・専門化しています。お客様に信頼される製品を供給し続けるため、ミズホメディーは

もっと人のために

をテーマに下記の6つの運営方針を定め、企画・開発・製造・販売に取り組んでおります。



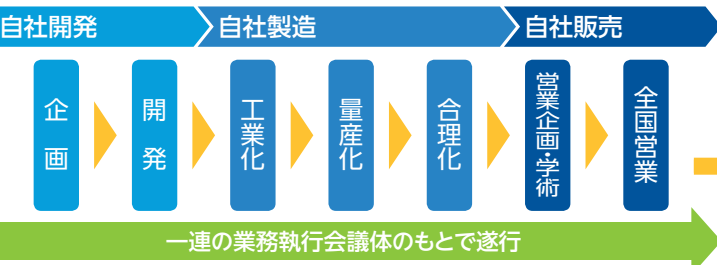
1. 具体的アクション

医療用及び一般大衆薬分野の双方にて価値ある製品の供給を通じ社会に貢献

企画開発から製造、販売までの自社一貫体制

当社は、主に体外診断用医薬品に関し特許権利取得を視野に独自の研究開発や産学官共同研究を実施しております。またISO13485品質マネジメントを骨格とした自社一貫体制を構築し、各組織では有能で経験豊富なスタッフが事業活動を行っております。

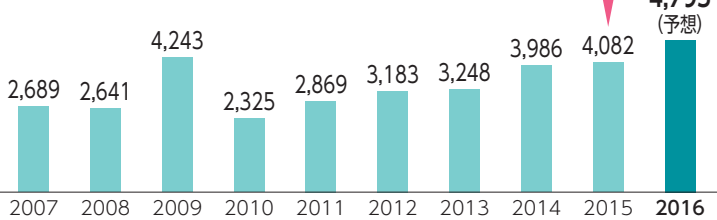
● ISO13485品質マネジメント



2. 具体的成果

持続的成長の実現

● 直近10年間の売上高の推移 (単位：百万円)



病院・開業医分野

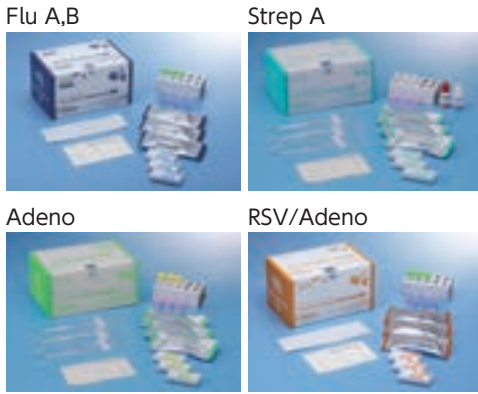
診断分野の中でも最も市場規模が大きい免疫血清検査薬が当社の主力商品です。なかでもインフルエンザウイルスやアデノウイルス等の感染症の検査薬は、中小病院や開業医を中心として市場は拡大しており、迅速で簡易な検査技術であるイムクロマト法を用いた多くの製品を販売しております。

業界に先駆けて機器試薬システムの製品化を実現

(機器) クイックチェイサー Immuno Reader



(試薬) クイックチェイサー Autoシリーズ



免疫検査機器を持たない全国の中小医療機関に普及 免疫血清検査薬 クイックチェイサーシリーズ



OTC・その他分野

当社では、OTC検査薬として最も市場が拡大した妊娠検査薬を製造販売に関する許認可制度が開始された1992年より販売し、続けて開発した排卵日検査薬とともに、少子化対策を要する昨今の社会に貢献する製品として全国の薬局・薬店を通して消費者へ供給しております。

99%以上の正確さ、1分から判定可能、初めての方でも簡単に検査できる 妊娠検査薬 P-CHECK・S



少子化が叫ばれる中、妊娠しやすい時期を的確に予知する 排卵日検査薬として注目を浴びる P-CHECK・LH



*OTC (Over The Counter): 医師の処方箋がなくても購入できる医薬品で薬局、薬店、ドラッグストアなどでカウンター越しに販売することに由来した名称

2015年12月17日、当社は JASDAQ市場に上場いたしました。 様々に進む医療制度改革へ 的確に対応し、一層の企業価値向上を 目指してまいります。

株主の皆様には平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、2015年12月17日をもちまして東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）市場に株式を上場いたしました。ここに謹んでご報告申し上げますとともに、これまでの皆様方のご支援、ご高配に心より感謝申し上げます。

代表取締役会長兼社長 唐川 文成

Q 当期の経営環境、また決算のポイントなどについて教えてください。

A 利益面で戦略的先行投資の影響はあったものの、着実に増収を確保いたしました。

少子高齢化の進行を一因として健康意識が高まる中、予防やケアという面から医療に対する国民の期待はますます強くなってきております。また医療現場では早期治療に有用な検査技術の革新スピードが速まる一方、国民医療費の増大を抑えるため、治療に即した検査への淘汰も

●当期決算ハイライト

売上高
40億82百万円
(前期比 2.4%増) 

営業利益
3億88百万円
(前期比 16.5%減) 

当期純利益
2億57百万円
(前期比 18.8%減) 

●今後の主な成長戦略

病院・開業医分野

- 主力の感染症POCT製品の性能改善
- 感染症の診断項目において新たなPOCT検査薬の提供
- ウイルスや細菌の遺伝子をより迅速で簡易に検出する技術の確立

OTC・その他分野

- 医療機関に供給しているPOCT検査薬のスイッチOTC化の適宜推進
- 排卵日検査薬：2016年度に薬局・薬店での販売解禁
- 妊娠検査薬：自社ブランド並びにPBの販促強化

その他経営全般

- 独自特許による新規診断技術の創出
- 遺伝子POCT機器・試薬システムにより潜在市場を発掘
- 開発人員の強化・育成
- 検査薬のスイッチOTC化に向けた製造能力の増強 など

進むなど、体外診断用医薬品業界は多様な変化を迎えております。

このような環境のなか、当社は医療現場からの様々なニーズに応えるべく、POCT（診療室・病棟及び外来患者向け診療所など患者に近い医療現場での検査）メーカーとして、新技術や新製品の開発推進とともに、既存製品の改良に尽力してまいりました。また、競争力強化のため生産性の効率化・合理化を進めるなど、経営体質の強化にも取り組んでまいりました。

これらの結果、当期の売上高は40億82百万円（前期比2.4%増）となりました。利益面では、たな卸資産廃棄損59百万円の計上のほか、業容拡大に向けた人員増加や研究開発費の増加など戦略的先行投資の影響や上場関連費用により、営業利益は3億88百万円（同16.5%減）、経常利益は3億71百万円（同19.1%減）、当期純利益は2億57百万円（同18.8%減）となりました。

Q 医療制度改革の進展など激変する経営環境の中、どのような成長戦略を展開していますか？

A 早期治療を要する感染症診断を主に、新たな検査技術開発を強化し、販売を拡大していきます。

少子高齢化に伴い、日本の医療体制は、医療費の抑制を背景に子育て支援と老人介護を主に地域包括ケアシステムの構築へと進んでいます。特に、小児や老人の感染症においては、的確な治療につながる早期診断が重要であり、かつ、各地域の診療の場で実施されてこそ医療サービスが向上することとなります。当社は、現在有する検査技術とさらに新たな技術革新のもと、病院・開業医分野へは、感染症の診断項目において新たなPOCT検査薬を提供するとともに、ウイルスや細菌の遺伝子をより迅速で簡易に検出する技術を確認し、診療の場におけるより精度の

高い診断を実現してまいります。また、OTC検査薬(薬局・薬店で購入できる検査薬)におきましても、行政主導の規制緩和であるスイッチOTC化に基づき、病院・開業医に供給しているPOCT検査薬を、順次、薬局・薬店へ提供するなど、「もっと人のために」を経営理念のもと、幅広く人々の健康に貢献することで永続的成長を実現してまいります。

Q 来期(2016年12月期)の見通しについてはいかがですか？
A スイッチOTC化に基づくOTC製品の市場拡大と、病院・開業医分野への新製品投入。

一般用検査薬市場では、これまで体外診断用医薬品として医療機関や調剤薬局で販売されていた排卵日検査薬が、2016年度のスイッチOTC化により一般用検査薬として薬局・薬店での販売が解禁され、当社排卵日検査薬がドラッグストアの店頭に並ぶことになります。また、病院・

●2016年12月期業績の見通し

	業績予想	増減率
売上高	47億95百万円	17.5%増
営業利益	4億91百万円	26.5%増
経常利益	4億87百万円	31.1%増
当期純利益	3億52百万円	36.7%増

開業医市場では、新たに昨年許認可申請を行った呼吸器感染症分野のPOCT検査薬3項目を上市いたします。これら新製品の投入により、インフルエンザなど呼吸器感染症分野における主力製品の売上も拡大いたします。業績見通しは増収増益を見込んでおります。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いいたします。
A 医療現場のニーズに応えた検査薬の開発を強化し、販売を拡大してまいります。

インフルエンザウイルスやノロウイルスなどの感染症の集団発生への対応を背景に、医療に対する期待は「治療」から「予防」「ケア」へとシフトしつつあります。

今後も医療現場のニーズに応えた検査薬を開発・販売し、皆様の健康管理、福祉の向上に貢献することにより、当社の理念である「もっと人のために」を実現し、企業価値の向上に努めてまいります。

引き続き変わらぬご指導とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



● 健康のためのお役立ち情報 ●

当社HPでは、毎日の健康に役立つ様々な情報や、赤ちゃんが欲しい方のために妊娠の仕組みに関する情報などをご提供しています。



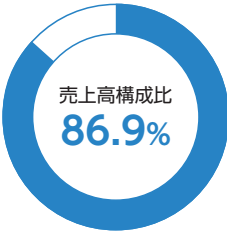
例年11月～4月頃は、特にインフルエンザに対して注意が必要です! 医師監修による対処法などもご紹介していますので、ぜひ一度ご覧ください。



▲当社HP内「妊娠・検査」ページより。
http://www.mizuho-m.co.jp/information/oyakudachi/ninshin/ninshin_01.html

当社HPトップページアドレスは <http://www.mizuho-m.co.jp>

病院・開業医分野



2015年度実績
売上高
35億47百万円
(前期比 4.1%増)

国内外の医療機関向けに、ウイルスや細菌の感染の有無等を診断する「クイックチェイサーシリーズ製品」等の免疫血清検査薬、患者様の健康状態や疾患の有無、治療の経過等を診断するための「オートLシリーズ製品」等の生化学検査薬を製造販売しております。「クイックチェイサーシリーズ製品」は、迅速で簡易的な検査技術を用いた製品群が高い評価を受け、着実に売上拡大を続けております。



当期の概要

- 病院・開業医分野の売上高は前期比4.1%増の35億47百万円。
- 第4四半期にインフルエンザ流行の遅れの影響はあった一方、第1四半期に当検査薬が品薄の中でも自社一貫体制により供給できたことで、当検査薬の売上高は前期と同水準を維持。
- アデノウイルス検査薬は前期比9.5%増、溶血連鎖球菌検査薬は前期比20.5%増を達成。

● 主な製品のご紹介 ●

感染症迅速診断システム



高感度及び自動検出の実現により客観的な判定が可能です。

研究用試薬

院内感染伝播の迅速な監視などに役立っています。

インフルエンザウイルス検査キット



インフルエンザの診断ができます。

生化学用検査試薬

コレステロール・尿酸・中性脂肪

アデノウイルス検査キット



アデノウイルスの検査です。

一般検査用試薬

便潜血検査

ノロウイルス検査キット



ノロウイルスによるものかどうかわかります。

OTC・その他分野



2015年度実績
売上高
5億34百万円
(前期比 7.5%減)

妊娠検査薬「P-チェック・S」を自社ブランド製品として販売し、ドラッグストアのPB製品としても「S-チェッカー」「プレセルフ」等の製品名で販売しております。妊娠しやすい時期を的確に予知する排卵日検査薬「P-チェック・LH」も主力製品の1つです。またその他、農作物の苗木などのウイルス病を見つけるため、免疫血清検査薬の技術を応用した果樹ウイルス検査薬を農業試験場等へ販売しております。



当期の概要

- OTC・その他分野の売上高は前期比7.5%減の5億34百万円。
- 自社ブランドの認知向上や販促施策の奏功等により、妊娠検査薬の売上高は前期比2.7%増と堅調に推移。
- 排卵日検査薬は一部の代理店への売上高が減少したため前期比27.0%減となった。

● 主な製品のご紹介 ●

妊娠検査薬デジタルP-チェック(OTC)



判定結果がデジタル表示で分かりやすく、またテストスティックは1回使い切りのため、清潔で安心してお使い頂くことができます。

妊娠検査薬P-チェックS(OTC)



99%以上の正確さで1分から判定可能。また生理予定日の1週間後から検査可能で、朝/昼/夜の尿でも検査ができます。

農業分野向け製品

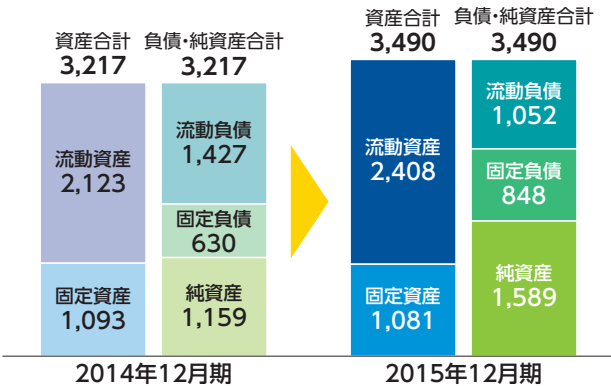


農林水産省高度化事業の共同研究成果として、カンキツ栽培における温州萎縮ウイルス感染を15分で迅速診断する「SDVクロマト」を販売しております。

財務インフォメーション

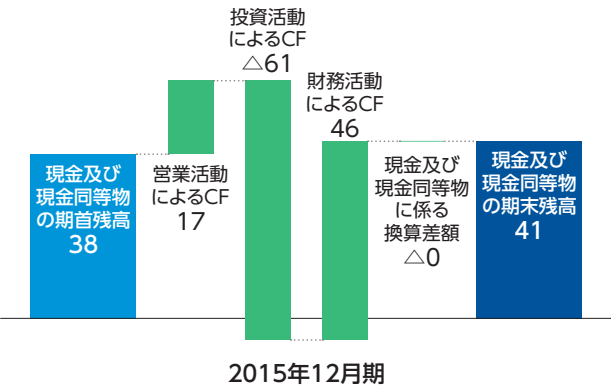
■財政状態の概要

(単位：百万円)



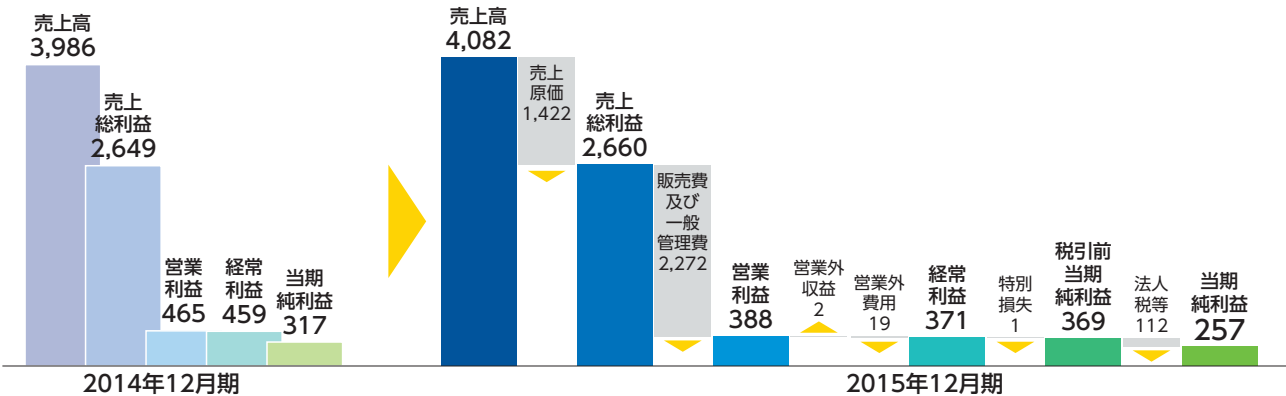
■キャッシュ・フローの概要

(単位：百万円)



■損益の概要

(単位：百万円)



財務諸表分析

- 株式発行による資本金の増加及び利益剰余金の増加等により、自己資本比率は前期よりも9.5ポイントupの45.5%へ伸長。
- 現金及び現金同等物の期末残高は、前期末比2百万円増の41百万円。営業CFはインフルエンザ流行の前倒しに備え、戦略的にたな卸資産の備蓄を実施したため前期よりも1億98百万円減。

会社概要／株式情報

(2015年12月31日現在)

■会社概要

本社 佐賀県鳥栖市藤木町5番地の4
設立 1977年11月2日
資本金 4億6,454万円
代表者 代表取締役社長 唐川文成
従業員数 137名

■役員 (2016年3月29日現在)

代表取締役会長兼社長	唐川 文成	取締役	神原 俊夫
常務取締役	今村 正	取締役(社外)	佐々木 克
取締役	市丸 和広	監査役(常勤)	立石 貞則
取締役	佐々木 寛	監査役	重見 亘彦
取締役	檜原 謙次	監査役	橋本 高吉

■ネットワーク



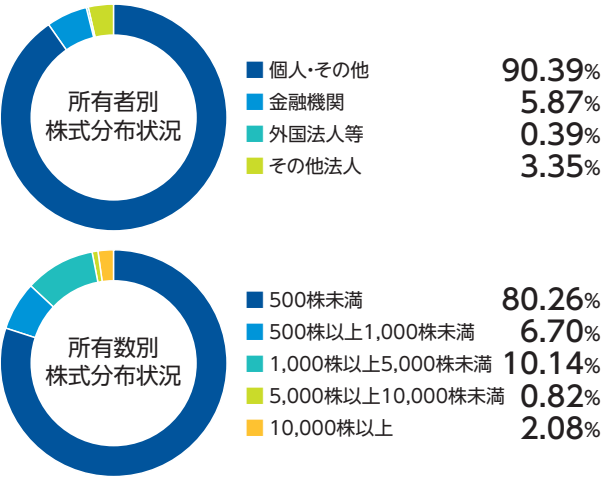
■株式の状況

発行可能株式総数 8,460,000株
発行済株式総数 2,381,400株
株主数 1,104人

■大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
唐川 文成	848	35.63
ミズホメディー社員持株会	280	11.75
唐川 則康	194	8.18
山里 将浩	120	5.04
株式会社西日本シティ銀行	100	4.19
渡邊 亀四郎	66	2.77
山口 和也	57	2.41
立石 貞則	48	2.01
株式会社SBI証券	38	1.63
岡村 茂樹	30	1.27

■所有者別／所有数別株式分布状況



ミズホメディー IR情報

当社のIR情報サイトページでは、決算情報などのIR関連情報をタイムリーに配信しております。また株主・投資家の皆様専用のお問い合わせフォームもございますので、お気軽にご利用ください。



ミズホメディー

検索

<http://www.mizuho-m.co.jp/ir/index.html>

■株主メモ

事業年度 1月1日～12月31日

期末配当金受領
株主確定日 12月31日

定時株主総会 毎事業年度末日の翌日より3カ月以内

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座 口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
☎ 0120-232-711 (フリーダイヤル)

上場証券取引所 東京証券取引所
JASDAQ(スタンダード)

公告の方法 電子公告により行います。
公告掲載URL
<https://www.mizuho-m.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、
その他のやむを得ない事由が生じたときには、
日本経済新聞に公告いたします。)

このビジネスレポートに記載されている業績予想等の将来に関する事項は、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づくものであります。実際の業績等は予期しない経済状況の変化をはじめ、様々な要因により異なる結果となり得ることをご承知おきください。また医薬品に関する情報が含まれていますが、その内容は宣伝広告や医学的アドバイスを目的としているものではありません。

株式会社 ミズホメディー

〒841-0048 佐賀県鳥栖市藤木町5番地の4
TEL : 0942-85-0303 FAX:0942-85-0312

